

八女市八女福島 町並み通信

第54号 発行日：2025年12月

発行者：八女福島町並み保存会

問合せ先：（事務局）八女市文化振興課

歴史まちづくり係 ☎ 0943-24-8164

E-mail rekimachi@city.yame.lg.jp

■【市指定文化財・今里家住宅修理現場見学会のご案内】

*** 今里家住宅は、八女福島の匠が粋を凝らした居蔵（いぐら）とよぶ町家建築の一丁目一番地 ***

◎日時：2025年12月21日（日）14:00～

◎場所：今里家住宅（八女市本町240-1）

○見学会は無料です。

○定員は約30名です。見学希望者は、12月15日までに電話、又は、Eメールで上記の八女福島町並み保存会・事務局（市文化振興課内）へ申込ください。

○説明者：「平宅 正人」氏（担当建築士、一社・創造遺産機構所属）、説明は今里家住宅の歴史及び町家建築の特徴などについても行います。

○主催：NPO法人まちづくりネット八女

○共催：八女福島町並み保存会

○協力：八女町並みデザイン研究会

* 今里家住宅とは

今里家住宅は、八女福島の町家建築の特徴である「居蔵」と呼んでいる白壁土蔵の最古（1838年・天保9の建築）で、「居蔵造の始まり」とされ、最も重要な町家です。

建物の歴史と現状は、江戸末期から明治期に活躍した山形屋・小山田和助（商人）が建設した町家で、昭和初期に提灯の房を製造・卸を営む今里家を買取り、1995年（H7）まで店舗兼住居として使われて、その後は町並み保存活動をするまちづくり団体の町並みイベント時などに活用され、地元で「房屋」の屋号で親しまれてきました。しかし、近年急速に老朽化が進んだため使われなくなっていました。

* いよいよ保存修理事業に着手

現状は、瓦や漆喰壁が落ち、屋根全面にシートをかぶせるなど応急処置をしてきましたが、雨漏りによる白蟻被害や地盤沈下による梁の歪みなどが限界に達していました。奥の離れ座敷についても同様の状況です。

事業実施は、市による保存活用計画書の作成が2024年度に終了し、保存修理工事は1年遅れて、2025年9月に着手しました。

いよいよ長年のこの大きな課題を克服するための取り組みで、これまでと違って3年計画で再生修理事業を取り組み、総事業費が2億円に迫る大がかりな事業です。

* 保存修理事業を担う体制と活用

新所有者から何とかしてほしいと依頼を受けたNPOまちづくりネット八女が、まちづくり会社（株）NOTE八女と協働で所有者に代わり再生修理活用事業を行います。（「分散型町家ホテル・八女福島商家町」として活用予定です。）

修理事業には、八女市から充実した伝建保存修理事業の補助金がありますが、町家ホテルとして活用するには、特に建物内部の修理・改修にかなりの自己資金が必要です。銀行借入というリスクを背負いながら挑戦していますが、事業を成功させるには融資額の極力低減が必要で、市のふるさと納税の支援を受けています。

再生修理工事は、町家の価値を損なわないように、文化財主任技術者の建築士の監督により実施しています。

（設計：一社・創造遺産機構、施工：株・黒木建設）



・江戸後期から隆盛を極めた八女福島で、居蔵造の始まりとされ、貴重な町家建築である。

↓ 市のサポートで所有者からNPOへ依頼

・NPOは、伝建修理事業を申請し、資金調達を考慮しつつ保存継承のため、2025年に事業着手（3か年）

町家のNPO等による代行リノベ

工期：2025/09～2027/11



■【今里家住宅保存修理事業の寄附募集について】

【2025年度：八女市ふるさと納税の支援のお願い】

○寄附目標金額：3,000,000円以上

○改修工事費金額：97,600,000円（2026年度事業分）

○寄付募集中：2025年12月31日まで

—「インターネット及びスマートフォンからの申込の場合」—

* ふるさと納税は、インターネット及びスマートフォンでの申込の場合、「**天保の居蔵 令和再生プロジェクト**」を検索してください。 <https://www.furusato-tax.jp/gcf/4424>

スマートフォンの
カメラで読み取り



—「電話での問い合わせで、申込手続も可能です」—

* 電話では、「**天保の居蔵 令和再生プロジェクト**」へ寄附をしたいと伝えてください。振替用紙等が送られてきます。

* お申込等の問合せ先

八女市ふるさと納税専用ダイヤル ☎:0120-594-236

—「直接寄附の場合」—

一般寄附（金額は問いません）の場合は、以下の口座に振込をお願いします。

振込後、Eメール等で住所とお名前を連絡いただくと助かります。

金融機関名：九州労働金庫 八女支店

口座名義：まちづくりネット八女(マチヅクリネットヤメ)

口座番号：(普通預金) 6712430

email: bymrt982@ant.bbq.jp 電話 090-8413-6128

—【ふるさと納税の返礼品】—

寄附への感謝として、地域の特産品などの返礼品がもらえます(八女市民を除く)。



※返礼品はこれ以外にもたくさんあります。

■【八女福島町並みの歴史と特徴】

八女市の市街地である福島地区は、江戸期の直前に整備された福島城の城下町の町割りをそのまま受け継いでおり、江戸から明治期に交通の要衝の地であったことから物産の集散地として栄えた商家町である。地区には大火を経験して江戸後期に完成した「居蔵(いぐら)」と呼ばれる重厚な妻

入り入母屋の土蔵造の町家建築等が、旧往還道沿い(街道)に連続して残っています。

町並み保存継承の取組みの経過は、1995年(H7)に街なみ環境整備事業の導入後、2002年(H14)に国の重伝建地区に選定され、約233棟の伝統的建築物を特定しています。



八女福島町並み(重伝建地区)



福島商人が活躍したまち



分散型町家ホテル



商人型(左)

2階表が倉庫で単窓の鉄板戸・鉄格子・漆喰戸が入り、商品をストックして、閉鎖的になる。

商人型と職人型の町家、その特徴

職人型(右)

2階表が部屋(居室)や職人の作業場などになったりして、連窓となり、開放的になる。



ごあいさつ: NPO法人まちづくりネット八女 北島 力



NPO法人まちづくりネット八女は、2019年度から市ふるさと納税の支援を受けており、これまでに多くの皆様にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

まちの人口減少が深刻になる中、空き家を再生し移住者や出店者を温かく受入れることは、地域の活力とコミュニティの持続に繋げることができます。

これからも益々地域の皆さまと力を合わせて、八女福島町並みの保存継承に努めてまいります。